

一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会

2022 年度第 2 回理事会議事録

開催日時： 2023 年 11 月 10 日（金） 15：00 より 17：00

開催場所： パシフィコ横浜ノース 2F G214 会議室

（神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-2）

出席理事（五十音順）：

赤間 高雄 大森 豪 勝川 史憲 木村 穰 高橋 敏明
武田 友孝 田島 文博 帖佐 悦男 土屋 明弘 土肥美智子
鳥居 俊 中川 泰彰 馬場 礼三 藤谷 博人 細井 雅之
牧田 茂 松田 貴雄 松本 秀男 山澤 文裕 山下 敏彦

出席監事： 原 邦夫

議事録作成者： 松本 秀男

議長： 山澤 文裕

上記のとおり出席があり、本理事会は適法に成立したので、山澤文裕は議長となり開催する旨を宣した。

議案及び決議事項は以下のとおりである。

議事の経過の要領及びその結果

（1）議長選任

理事長（代表理事）松本 秀男は、開会に当たり、議長として理事 山澤 文裕を指名したところ、同人は直ちに議長就任を承諾した。

（2）定足数の確認

議長は本日の出席が理事 20 名であり、理事総数 25 名中 20 名の出席を得て、定款 35 条第 1 項の「理事の過半数が出席」していることにより理事会が有効に成立したことを報告した。

理事長および副理事長は 2022 年度の業務執行報告を行った。

議長の指名により理事 勝川 史憲は、第 34 回日本臨床スポーツ医学会学術集会会長として挨拶し、翌日より開催の学術集会の準備状況について報告した。

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

審議事項

第1号議案 2022年度 事業報告及び学会員数

議長は、2022年度事業報告及び学会員数の内容を報告した。ついで、議長が本議案の承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

第2号議案 2023年度 事業計画

議長は、2023年度事業計画の内容を説明した。代議員選出が行われるなどが報告された。ついで、議長が本議案の承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

第3号議案 2022年度収支報告

議長（財務委員会委員長 理事 吉矢 晋一 代理）は、収支報告書、貸借対照表等の内容を報告した。続いて、監事 原 邦夫は、監事 永富 良一と会計に関する書類を顧問税理士 石原 嘉久及び事務局立ち会いのもと綿密に確認し、適正に処理されていることを認めた旨を報告した。ついで、議長が本議案の承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

第4号議案 2023年度予算案

議長（財務委員会委員長 理事 吉矢 晋一 代理）は、2023年度予算案の内容を説明した。引き続き会員管理システム構築費として減価償却費が計上されていること等が説明された。ついで、議長が本議案の承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

第5号議案 新理事・監事の選出について

総務委員会委員長 理事 山澤 文裕は、選挙管理委員会委員長 理事 吉矢 晋一の代理として、本年度の理事・監事選挙の経過を確認した。理事および監事の立候補者が定員以内のため選挙は行わず選挙結果を確定し全員当選となったことを報告したところ、満場異議なく承認された。定時総会で承認を頂く。

第6号議案 第37回学術集会会長について

議長は、第37回学術集会会長の選出について意見を求めたところ、理事 鳥居 俊が推挙され、同人の意思を確認し同意を得た。ついで、議長が本議案の承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。議長の指名により理事 鳥居 俊は挨拶した。

第7号議案 定款への事業の追加について

議長は、前回の理事会にて承認された、第4条 事業 への「スポーツにおけるアンチ・ドーピング活動の推進と関連団体への連携」の追加、および第9条の文章の変更につ

いて。定時総会にて承認を頂くことを報告した。

第8号議案 会員資格及び会費等に関する規則の改定について

議長は、前回の理事会にて承認された、年会費および入会金の改定について、それに関連する規則の改定を提案し、承認された。定時総会にて承認を頂く。

各委員会審議・報告事項

財務委員会

2022年度活動報告

総務委員会委員長 理事 山澤 文裕は、財務委員会委員長 理事 吉矢 晋一の代理として、2022年度の活動について報告した。5月の理事会にて承認された、年会費の引き上げ及び入会金の引き下げについて、定時総会にて承認頂くことが報告された。

学術委員会

2022年度活動報告及び2023年度活動予定

学術委員会委員長 理事 鳥居 俊は、健康スポーツ部会および競技スポーツ部会の活動報告及び活動予定を報告した。公開シンポジウムが健康スポーツ部会のサステナブル小委員会の担当により、4月にハイブリッド形式で開催されたこと、および競技スポーツ部会では3つの小委員会の活動について報告した。予算は各部会150万円ずつとする。

編集委員会

1. 学会誌投稿状況について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、オンライン投稿システム導入後の2021年度と2022年度の投稿総数と査読状況について報告した。オンライン投稿システムでは、査読がスムーズに進められていることを報告した。

2. 第34回学術集会 依頼原稿について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、第34回学術集会の依頼原稿の対象について、教育研修講演すべてとシンポジウム5つを選んだことを報告した。

3. 2022年度学会賞について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、2022年度学会賞選出の選考過程の説明を述べ、学会誌31巻1号～3号に掲載された45編から優秀論文を3編選出した旨を報告した。

資格審査委員会

1. 准会員資格審査結果

資格審査委員会委員長 理事 藤谷 博人は、2022年10月1日から2023年9月30日の期間で准会員資格審査の対象となった158件について報告した。全員合格であったことが報告された。

2. 准会員から正会員への資格申請 審査結果について

資格審査委員会委員長 理事 藤谷 博人は、8月に准会員から正会員への申請が3名あったことを報告し、確認した。北海道千歳リハビリテーション大学 小林匠 准会員、獨協医科大学 枝伸彦 准会員、慶應義塾大学病院 今井覚志 准会員について資格審査委員全員から承認を受けたため、理事へ意見を求めた所、満場一致で承認を得た。

研究倫理委員会

2022年度活動報告

研究倫理委員会委員長 理事 牧田 茂は、学会員の研究倫理審査についてのニーズを把握するために、学術集会の演題応募時にカテゴリ分類と倫理審査についてのアンケート調査を行い、学会の倫理審査を必要とする演題はごく少数であったことが報告された。

広報委員会

2022年度活動報告

総務委員会委員長 理事 山澤 文裕は、理事 島田 和典（広報委員会委員長）の代理として、2022年度の活動について報告した。会員専用サイトの運用状況、メールアドレス登録促進の方策、および学会ホームページの活性化について報告した。COI管理については、当面は現行のままとし、システム構築は今後の検討課題とすることも報告された。

国際委員会

2022年度活動報告

国際委員会委員長 理事 松本 秀男は、2022年度の活動について報告した。4月にAMSSMヘトラベリングフェローを派遣したこと、韓国からのトラベリングフェローが学術集会に合わせて来日していることが報告された。

教育研修委員会

2022年度活動報告

教育研修委員会委員長 理事 大森 豪は、2022年度の活動について報告した。スポーツ医学現場見学・検収マッチングプログラムが6月1日より運用を開始したがまだ利用が無いため、学会ホームページにバナー掲載をする等の方策を行って、周知をしていくことを報告した。

その他の報告事項

第34回学術集会発表者の入会状況の件

議長は、第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会発表者の入会状況について報告した。筆頭演者に関しては、ほぼ入会が完了していることが報告された。

第35回及び第36回学術集会の件

理事 大森 豪は、第35回学術集会を2024年11月16日(土)、17日(日)の2日間、朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターにおいて開催する旨および準備状況について報告した。

続いて、議長は第36回学術集会会長 理事 津下 一代の代理として、第36回学術集会を2025年11月2日(日)、3日(月・祝)の2日間、幕張メッセ 国際会議場において開催する旨を報告した。

次回の理事会日程の件

議長は、次回の理事会がこのあと18:30より行われる旨を述べた。

以上を以て、審議すべき予定につき全て了したので、議長は閉会を宣し、17時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し定款第36条第2項の規定により以下に記名押印する。

2023年11月10日

一般社団法人日本臨床スポーツ医学会

理事長 松本 秀男 代表印

議長 副理事長 山澤 文裕 ⑩

監事 原 邦夫 ⑩